

# 自補修における耐スリ傷性クリヤー及びセルフリストアリングコート対応塗料と注意点

補修作業場においては、新車に採用された塗料性能に対応し、カーメーカーから認定もしくは推奨された自補修用を使用することが望ましい。

塗料メーカー各社から対応製品が設定されているが、耐スリ傷性を持つ塗料のため、磨き作業が課題となるケースも多い。特にセルフリストアリングコートでは、研磨時に補修塗膜への熱影響を考慮する必要があるため、磨き作業時間が掛かり、通常クリヤーより難易度が高いという声もよく聞かれる。

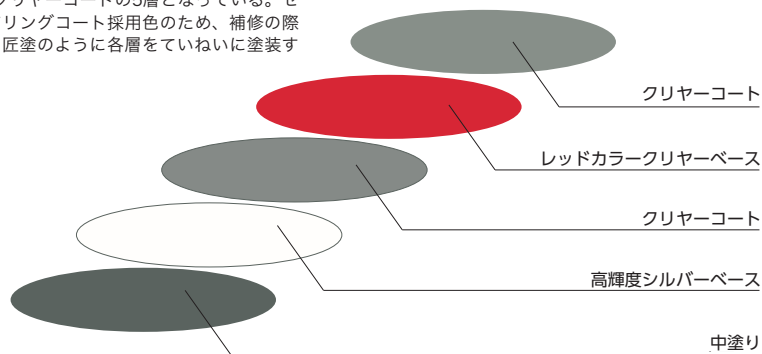
また塗膜という点では、下地処理の際にパテを完全硬化させずにブラサフを塗布し、後の工程でクリヤーに不良が生じるケースも少なくない。これは同コート塗布時に限った話ではないが、パテが完全に硬化しきる直前のある程度乾いた時が一番研ぎやすいため、時間を短縮して次の工程に移行してしまうと起こりやすい。

実際に、トヨタ車ディーラーからの入庫でこのような処理をし、結局再度塗装し二度手間になったケースも聞かれた。クリヤー塗布はボデーの外観の印象を決定する重要な工程ではあるが、あくまで上塗りである。耐スリ塗装時に、ベースカラーの上にクリヤー層を挟んで高機能クリヤーを塗るかどうかは、使用する塗料メーカーごとに推奨工程が異なるところではあるが、下地処理段階からていねいに層を積み

上げていきたい。

同時に塗装環境にも注意を払いたい。たとえば、セルフリストアリングコートをフロントドアに塗装する場合、損傷範囲にもよるが、隣接パネルであるフロントフェンダーやリヤドアの一部をボカすことがあるだろう。ボカシ範囲が広くなればその分、ボカシ際を磨く作業時間が必要となる。後の見積りでも触れるが、ブースの回転率をなるべく上げ、効率良く塗装作業をするためには、磨き時間を短くする必要がある。エアブローでゴミ・ブツを塗装環境から排除し、排気フィルターが床下のない塗装ブースであれば水撒きなども効果的だろう。研磨傷の戻りなど、集中して補修作業に取り組むためにはこういった細かな注意を払うことも忘れてはならない。

レクサスRC (C10系) の3T5 (ラディアントレッド) では、コントラストレイヤリング塗装を採用しているため、中塗り、反射層 (メタリックカラーまたはシルバー)、クリヤーコート、発色層 (カラークリヤーベース)、クリヤーコートの5層となっている。セルフリストアリングコート採用色のため、補修の際にはマツダの匠塗のように各層をていねいに塗装する必要がある



## 水性クリヤーでの対応製品も増加

塗料メーカー各社からは、溶剤系・水性塗料から耐スリ傷性クリヤー及びセルフリストアリングコート対応塗料がラインアップされている。

作業環境の改善や労働安全衛生法の観点から、自補修においても水性塗料に対する関心は高まっている。しかし、現時点においては、トヨタの耐スリ傷性クリヤー及びセルフリストアリングコート対応の水性クリヤーは出そろってはいない。現場において、まだ溶剤系塗料での塗装が主流であることを考えると納得ではある。

水性塗料はやはり乾燥性という点において、溶剤系と同様というわけにはいきにくだろう。しかし、塗膜品質

# 耐スリ傷性クリヤー及びセルフリストアリングコートの塗料料金見積り

## 見積りには妥当性が必要

トヨタ・レクサス車に採用されている耐スリ傷性クリヤー及びセルフリストアリングコートに限らず、通常クリヤーとは異なる塗料を使用する高機能塗装は、材料費が高いため塗装費用も伴って値が張りやすい。そのため、現場では同クリヤーを塗布する補修は保険を使用した入庫が多い。そうなると避けられないのがアジャスターとの協定である。

ディーラーからの受注の場合でも、再見積りと協定は自社でしている工場

は珍しくない。その際多くは、見積書作成時に該当する車種に対応した指数値を使用するだろう。また独自で策定した作業工数を使用する工場や実作業時間を基に計上している工場もあるかもしれない。

本特集では、どれが正しい見積りの作成方法なのかということについては触れない。見積りに妥当性があり、協定時に自社の作業時間や作業内容などの根拠を示すものが提示できるのであれば、それも一つの見積書作成の方法であろう。

ここからは両クリヤーの塗料料金見

積りに焦点を当て、指数を使用した場合の見積りの基礎を再確認し、割り増し時の注意点などを述べていくことで、現場での計上時の間違いや漏れていた項目がないかを確認した。

## 補修塗装指数

自研センターより発行されている指数テーブルマニュアルでは、高機能塗装として現在指数が設定されているものは、フッ素、耐スリ傷、スクラッチ塗装の3種類。トヨタの耐スリ傷性クリヤーとセルフリストアリングコートは、耐スリ傷塗装に該当する。

図1

指数上の耐スリ傷塗装（セルフリストアリングコートを含む）の塗膜層イメージ

